

## やまなし森林・林業振興ビジョンの進捗状況について

県土面積の8割近くを占める本県の森林は、県民の生活に密接に関連した貴重な資源であり、将来にわたり良好な状態に保ち、多方面にわたり有効に活用していく必要があるため、平成27年12月に「やまなし森林・林業振興ビジョン」を策定し、「材」「エネルギー」「場」の3つのキーワードごとに基本方針、施策の展開を明確にし、ビジョンが目指す将来像の実現に向けて具体的な施策を展開しているところです。

こうしたビジョンの実効性を確保するため、基本方針ごとにそれぞれ数値目標(合計10項目)を掲げ、毎年度、目標実現に向けた施策の進捗状況や効果等について点検、評価を行うこととしています。

### ○ 数値目標の進捗状況

平成29年度末時点における各項目の進捗状況を関連キーワードごとに集計した結果は、次のとおりです。(目標年次：平成36年度)

関連 キーワード	項目	年度目標	実績値	進捗
		(H29)	(H29)	
材	1 森林整備の実施面積(年間)	6,000ha	6,205ha	103%
	2 木材生産量(年間)	249千m <sup>3</sup>	214千m <sup>3</sup>	86%
	3 林内路網の整備延長(累計)	4,568km	4,609km	101%
	4 林業への新規就業者数(年間)	54人	51人	94%
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数(累計)	26施設	31施設	119%
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量(年間)	38千m <sup>3</sup>	23千m <sup>3</sup>	61%
	7 ペレットストーブ導入台数(累計)	641台	917台	143%
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数(年間)	5,643千人	7,413千人	131%
	9 特用林産物生産への新たな取り組み件数(累計)	8件	8件	100%
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数(年間)	15箇所	15箇所	100%

このうち、「森林整備の実施面積」など7項目は、100%以上の実績があり、県内に整備された大型バイオマス発電所の稼働が遅れたことによる「木質バイオマスエネルギー利用量」を除き、全体として概ね順調に進捗しています。

【やまなし森林・林業振興ビジョン】進捗状況について（平成29年度末 ビジョン3年目）

関連キーワード	目標項目	基準値 (H26)	目標値 (H36)	H29年度進捗状況			進捗状況や効果等に係るコメント	今後の対応	担当課
				年度目標 a	実績値 b	進捗 (b/a)			
材	1 森林整備の実施面積（年間）	4,685ha/年	6,000ha/年	6,000ha/年	6,205ha/年	103%	県内全域において、木材生産機能や水源かん養機能等、森林の多面的機能を維持・増進するための森林整備を、計画以上に実施することができた。	森林環境税事業の第2期計画の着実な実施や、森林整備に必要な予算の確保に向けた国に対する要望活動などを行いながら、引き続き、関係者と連携のもと森林整備を推進していく。	森林整備課
	2 木材生産量（年間）	156千m <sup>3</sup> /年	335千m <sup>3</sup> /年	249千m <sup>3</sup> /年	214千m <sup>3</sup> /年	86%	前年度(H28)に比べ生産量が増加したものの、大型バイオマス発電所の稼働が遅れたことなどから、計画をやや下回る進捗となった。	高性能林業機械の導入などを支援し、生産性の向上を図るとともに、新たな需要先となるバイオマス発電所や大型合板工場への供給に向け、体制づくりを働きかける。	林業振興課
	3 林内路網の整備延長（累計）	4,483km	4,766km	4,568km	4,609km	101%	計画を上回る進捗であり、効率的な森林施業や木材搬出コストの低減などの効果が見込める。	林業の成長産業化に向け、効率的な森林施業を可能とする林内路網整備を計画的に進める。	治山林道課
	4 林業への新規就業者数（年間）	54人/年	54人/年	54人/年	51人/年	94%	山梨県林業労働センターと協働して、就業希望者に対する求人情報の提供や、林業事業体との面接会、技術講習会等を実施したことにより、新規就業者を概ね確保できた。	引き続き、山梨県林業労働センター等関係機関と連携して、林業事業体への労働条件の改善指導や、面接会、技術講習会等を行うなど、就業促進のための事業を積極的に実施し、新規就業者の確保に努める。	林業振興課
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数（累計）	23施設	33施設	26施設	31施設	119%	木質バイオマスボイラー等の導入を検討している者へ専門技術者を派遣するなど、指導・助言を行っており、計画を上回る進捗となっている。	引き続き、専門技術者の派遣による導入診断を行うなど、木質バイオマス利用施設の整備を働きかける。	林業振興課
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量（年間）	18千m <sup>3</sup> /年	84千m <sup>3</sup> /年	38千m <sup>3</sup> /年	23千m <sup>3</sup> /年	61%	木質バイオマス利用施設の増加に伴い、利用量は増えたものの、大型バイオマス発電所の稼働が遅れたことから、目標とする進捗には達しなかった。	木質バイオマス利用施設の整備を支援するとともに、木質バイオマスの安定供給体制を確立し、木質バイオマスのエネルギー利用量の拡大を図る。	林業振興課
	7 ペレットストーブ導入台数（累計）	488台	1,000台	641台	917台	143%	住宅への設置が増加したことから、計画を大幅に上回る実績となった。	ペレットストーブ等の導入が更に進むよう、引き続き、普及啓発に努めていく。	林業振興課
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数（年間）	5,425千人/年	5,788千人/年	5,643千人/年	7,413千人/年	131%	県内外からの森林スポットへの問い合わせや、企業からの照会、利用要望があるなど、森林の保健休養利用への関心の高まりが見られ、自然を目的とした観光客の増加につながった。	ホームページによる情報発信を強化するとともに、企業・団体への個別説明などにより、森林の保健休養利用の機会を促し、利用者の増加を図る。	県有林課
	9 特用林産物生産への新たな取り組み件数（累計）	2件	20件	8件	8件	100%	新品種の栽培方法等の研修会や指導を行った結果、新たに2件の生産者が栽培に取り組んだ。	特用林産物の生産者や新規参入希望者を対象に、新たな品種や栽培方法についての研修や指導を行うことにより、新規参入件数や新たな品種への取組件数の増加を図る。	林業振興課
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数（年間）	15箇所/年	15箇所/年	15箇所/年	15箇所/年	100%	目標どおりのペースで山地災害危険地区において治山事業に着手しており、山地災害の事前防災と減災対策の着実な推進を図っている。	計画的に治山事業を実施し、地域の安全・安心の確保を図る「緑の県土強靱化」に取り組んでいく。	治山林道課